

地域福祉コーディネーター等の人材育成について

1 県の役割の整理について

(1) 現状及び課題

国は、地域共生社会の実現を基本コンセプトにした福祉改革を進めており、地域住民が主体的に参画し、人と人、人と資源が世代・分野を超えてつながる「我が事・丸ごと」の地域づくりが、市町村に求められている。

地域づくりは、地域住民一人ひとりが自分たちのできる範囲で主体的に地域活動に関わりつつ、つながりを構築していくことが重要であり、そうした地域づくりに関わる人材の育成は、「我が事・丸ごと」の地域づくりを進めるにあたり重要な役割を担っている。

市町村及び市町村社協に対して、地域で活躍する人材に関する実態調査及びヒアリングを実施したところ、市町村においては、それぞれの実情に応じた地域福祉の担い手の育成等を行っており、様々な人材が地域で活躍している一方で、地域のリーダーとして活躍することに対する住民の強い負担感や、次の担い手候補不足、さらには地域の活動に興味はあっても具体的な行動に踏み切れない住民が多くいるなどの意見があった。また、地域で活躍する人材育成に係る効果的な企画方法等について、市町村等担当職員向け研修の実施を県に期待する意見が多くみられた。

(2) 県の役割と取組

現状や課題から、県の役割を次の3つに整理

① 「我が事・丸ごと」の地域づくりへの支援

地域住民一人ひとりが主体的かつ自分なりの形で地域に関われるよう、県としての考え方（地域福祉コーディネーターチームによる地域づくり）を広く周知する。

【具体的な取組】リーフレットの作成 …資料 1-2

② 地域福祉の担い手に対する支援

地域で活躍する様々な人々を後押しするとともに、これから地域で活動する人材が増えるよう支援する。

【具体的な取組】事例集の作成 …資料 1-3

③ 地域福祉の担い手の育成に関する支援

それぞれの地域の実情に応じた地域づくりや、効果的な地域福祉の担い手の育成を行えるよう、研修等の人材育成を企画する市町村職員等を支援する。

【具体的な取組】市町村等職員に対する研修 …資料 1-4